

河内地区
まちづくり
情報紙

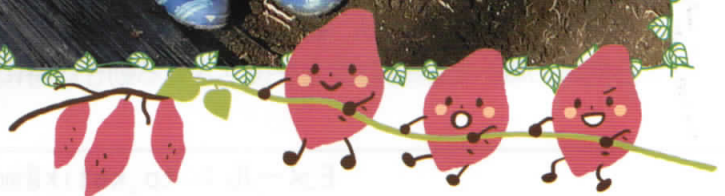
かわち

第73号

編集/発行
河内地区まちづくり協議会
〒329-1105
宇都宮市中岡本町3221-4
028-671-3202



東下ヶ橋の冬水田



まちづくり協議会から

発信



かわちらしさづくり実践プラン後期計画の策定



河内地区まちづくり協議会の8部会の基本方針を「楽しい」でまちづくりを推進するには、実践プラン後期計画の基本的考え方「自分たちで自分たちのかわちを笑顔や挨拶を通して、出来る事から楽しく創ろう」を通して「かわちらしさ」づくりを構築することにより、かわち地域住民の基本的な「幸せ」とは何かを共通理解するとともに、河内地区地域ビジョンを具現化するための担い手づくりを推進します。

河内地区では、かわちの将来像「自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち」を目標とする河内地区地域ビジョンを平成28年3月に策定しました。

また、河内地区地域ビジョンに基づき、実践プラン前期計画(平成28年度～令和2年度)を「かわちらしさ」づくりと定めて、各種事業に取り組んで参りました。その結果は、情報紙かわち令和2年10月号に掲載いたしました。

今回、前期計画で培った各種事業を通じた成果や実績と課題を加味して、かわちの将来像「自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち」を推進する、実践プラン後期計画をふり返り(令和3年度～令和7年度)の策定経過をお知らせします。



* 実践プラン前期計画をふり返り

1 PDCA+VP を回しながら推進致しました。

前期計画を具現化するための仕法として「PDCA+VPを進め」各事業に取り入れながら推進した結果、成り行き運営から、戦略を立て具体的な行動計画のもと、各種事業が展開出来ました。この仕法を後期計画ではスキルアップを図ることが重要と認識しました。

* 実践プラン後期計画が必要とされる背景

少子高齢化、経済のグローバル化、人々の意識やライフスタイルの変化、雇用のあり方の変化、新型コロナウイルス発生による「新しい生活様式」への対応など様々な動向は、かわちの人のつながりに影響を及ぼしています。

「無縁社会」という言葉に象徴されるように、人が孤立化する傾向が有る中で、「かわちらしさ」づくりにより「自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち」を目指す必要が有ります。

1 家族や世帯の変化

家族構成では、祖父母世代と若夫婦とその子どもたちが同居する大家族から核家族、そして単独世帯(一人暮らし)へと変化する傾向が見られる中、社会はデジタル化推進へと変化するなど、働き方や学び方の多様化により家族で食事や休日を共に過ごす機会が希薄化しています。

2 職場の変化

日本型の経営であった終身雇用型が過去のものとなり、派遣社員や契約社員での雇用が増加し、令和2年から特に感染症(例・コロナ禍)によるテレワークなど、かつては多かった職場向けの行事や親睦会も減り、職場の人間関係が以前より希薄化している中で、新たな形(職場の縁から地域の縁)で親睦の機会を復活させる動きが特に高齢者層に起きています。

3 コミュニティー組織の変化

宇都宮市の中では、河内の自治会組織はより良く運営されており、自治会への未加入世帯が少ない状況にあります。しかし、市街化区域を中心に加入率減少の傾向となっています。

また、少子化によりお祭りなどの地域行事の実施が難しい傾向にあり、PTA・子ども会・青少年会・婦人会などに積極的に関わる人が減り、役員の選出などから活動が停滞する傾向も見られ、多くの組織において若い人が増えないことも課題になっています。

4 「共同」から「サービス」への変化

近年、サービスを提供する側・受ける側に変化がみられ、みんなで協力し合う共同の行事が減り、多くの組織で役割を分担して組織運営する役員を引き受ける人がいないことも課題になってます。

5 人と交流する機会や場の減少

子どもたちの遊びにデジタル機器が普及した結果、遊びの場所が屋外から屋内に変化し、高齢者は家にこもりがちの方が増え、人付き合いの希薄化と引きこもりは、コミュニケーション力や健康にも影響を及ぼしています。

6 地域によって異なる問題

農村地域では、若い世代がほとんどいない限界集落の問題が深刻化し、その状況は市街化区域にも移行しています。

また、地域によっては地域での生活に必要な買い物や福祉・医療の恩恵に薄く、市街化区域では、周りに人はいても交流が無く、一日中誰とも会話せずに生活している人が増えつつあります。

7 職場の縁から地域の縁へ

何かあっても頼れる人が周りにいない。いわゆる「無縁社会」を不安に感じる人が増加傾向にあります。前段で述べた複数の要因などから、地域における人のつながりは以前より弱まっている現状を勘案して、職場の縁から地域の縁に重視した施策に取り組むことにより、人や組織が少しずつ考え方や動き方を変えつつ「かわちらしさ」を実感していくことで人の輪の絆になると感じられます。

快適で安全に移動できる未来に向けて

令和3年度の 利用登録はお済みですか！！

(利用期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日)

「さぎそう河内号」を利用するすべての人が毎年度、新たに利用登録していただくこととなります。



お手続きの内容は、令和3年1月号「まちづくり情報紙かわち」に折込まれております登録案内をご覧ください。

もっともっと快適な
「さぎそう河内号」をめざして



皆様のご支援、ご協力のおかげさまで、「さぎそう河内号」はコロナ禍の中でも、“地域の足”として大勢の方にご利用いただいております。

これからも、ご利用の多い時間帯は増便で対応配車体制の強化を図り、あわせて予約時間の短縮や、配車時間の見直しなど快適で安全さらに利便性の高い「さぎそう河内号」を目指して、運行方法の検討を進めてまいります。



地域トピックス

田原小学校 芋ほり体験

今年も構内の学校農園には、初夏の長雨やその後の猛暑に負けず、たくさんのさつまいもが育ちました。

うねを掘り起こすと大きな芋が姿を現し、そのたびにあちらこちらから、キラキラと目を輝かせた子どもたちの歓声が上がっていました。コロナ禍で多くの行事が中止となる中、このような体験は子どもたちの心を豊かに育むものであることを、再認識した収穫活動でした。



コロナに負けるな！ 地元の魅力を掘り起こせ！！

コロナ禍で運動会や文化祭・修学旅行などが中止や縮小となり学校でもいろいろ例年通りとはいかないなか、岡本小学校では6年生がグループ学習で「岡本の未来」について考えプレゼンテーションを行いました。健康を育むまちづくりやリサイクル段ボール活用イベントの提案等柔らかな発想の大人顔負けの素晴らしい内容で、まちづくり協議会が借り受け、後期5か年計画策定委員会で参考にすべく検討中です。

古里中学校では2年生が古里地域PRリーフレットを作成しました。各グループでテーマを設定、取材、具体的なリーフレットデザインにまとめて、21葉の作品が出来上がりました。力作ぞろいで甲乙付け難いところでしたが、11月21日の学校公開で1・3年生および保護者の投票を行い、上位5葉を印刷し、河内地区市民センターや岡本駅に置いて街歩きの参考に配布する予定とのこと。(6ページに関連記事)

また、まちづくり協議会では“かわち楽しいプロジェクト”を立ち上げ、5年以上前から集積してきた地域資源の情報データをまとめ「河内地区ガイドブック」として発行するとともにホームページに公開するべく作業を進めています。目標は2021年4月発行、地区内の小中学校に100部ずつ配布する予定です。

これからのウイズコロナ時代、皆さんもまずは身近な地元の魅力に目を向けてみませんか？

“かわちあいさつの日” 岡本駅前で第一声！



河内地区社会福祉協議会では昨年11月から「毎月1日はかわちあいさつの日」を合言葉に笑顔であいさつ運動を展

開しています。

12月1日には、JR岡本駅で朝の通勤通学の時間帯に呼びかけ活動を行いました。

福祉のまちづくり計画推進委員が、のぼり旗やポスターを持って並び、駅に出入りする人達に「おはようございます。」「いってらっしゃい。」と元気に声をかけました。

当日は師走に入ってから寒い朝でしたが、はずかしそうにうつむきながらも会釈であいさつを返してもらうと、うれしくて心温かくなりました。また地区内の小学校では“1日のあいさつの日”に校内放送で呼びかけるなど協力していただき、いっそう意識の輪が広がりつつあります。



サークル紹介 翠恵流 河内教室 主宰 直井翠恵

私達の教室は、宇都宮市でセミナーの講師の方や食事処の店内・デイサービスの施設・河内福祉センター等にボランティアで花の飾りを提供して約20年になる会員で成り立っております。

会員の年齢は40代～70代と中年の人達でも年齢より若く見え、ステキな人達ばかりです。

常に美と対面し心を豊かにして充実した日々を過ごしているとステキな人間になるのですね。



可愛いわが子の撮影会を開催しました。 “おひるねアートde年賀状”

昨年11月8日(日)午前9時30分から、日本おひるねアート協会 認定講師のかめだみさとさんをお招きし、「おひるねアート撮影会」を開催しました。

年賀状用にと、今年の干支である「ウシ」のデザインを背景に、ごろんと寝転ぶわが子の一瞬をカメラに収めようと、奮闘するパパやママの姿がありました。

開催が危ぶまれる時期もありましたが、無事に開催する事ができました。

おひるねアートは、河内図書館初開催のイベントでしたが、大変多くの反響をいただきました。今回ご参加いただけなかった方も、次回開催する日を楽しみにお待ちしております。

また、検温や消毒をはじめとした感染症拡大防止へのご協力をいただき、ありがとうございます。



宇都宮市立河内図書館にて

人権週間パネル展にて

昨年11月30日(月)から12月4日(金)にかけて宇都宮市役所1階市民ホールにて人権に関するパネル展が行われました。河内地区まちづくり協議会の『かわち笑顔プロジェクト』で作成した「きぶな折り紙のモビール」が展示され、コロナ差別防止活動に対し共感が寄せられ、大いに話題になりました。



コロナ差別防止活動に対し共感が寄せられ、大いに話題になりました。

挑戦!リレーマラソン42.195km

真冬の令和2年12月20日(日)スポーツかわち『ship』主催の第13回リレーマラソンが河内総合運動公園で行なわれました。今回、コロナ感染防止として出場3チームの自粛大会となりました。チームの絆バトンは、第89回箱根駅伝2013出場選手のグンドウ・ベンジャミン氏の後方支援でトラック105周を引継ぎ完走しました。グンドウ・ベンジャミン氏の走り方は、音もなく力みもなく体の軸がまっすぐで、速すぎることに驚嘆しました。次回は、多数の参加チームで盛り上げることを誓い合い解散しました。



大原美玲さん「優秀賞」受賞!

令和2年度、宇都宮市教育委員会主催「いじめゼロポスターコンクール」において岡本西小学校2年、大原美玲さんが優秀賞を受賞しました。

“いじめは絶対ダメ”・“みんな仲良し”を願う美玲さんの温かい思いがポスターから伝わります。



今年も地域の皆様の応援よろしくお願ひします!

2020シーズンは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今までに経験したことのないようなシーズンとなり、クラブにとっても厳しい1年となりました。そのような状況の中でも多くの皆様に支えられ、2020シーズンを無事に終えることができました。この1年の経験を今後のクラブの成長に活かせるよう、2021シーズンに向けた準備をし、これからもクラブのフィロソフィーでもある「KEEP MOVING FORWARD」を胸に前に進み続けたいと思っております。

そして、クラブハウスのある河内地区をはじめとする地域の皆さまには、いつもあたたかい声をかけていただき、本当にありがとうございます。日頃のトレーニングの際にも、地域の皆さまに「おはよう」「がんばってね」と沢山の声をかけていただき、私たちが皆さまに励まされております。これからも地域の皆さまに元気を与えられるようにチーム一丸となってがんばっていききたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



お知らせコーナー

スポーツかわち『ship』 ～新サークル紹介～

18年目を迎えたスポーツかわち『ship』に今年度、新しく“グラウンドゴルフ”がサークルとして活動を始めました。

ゴルフの名前がついているとおり、基本はゴルフと同じですが、専用クラブ一本と手のひらに入る大きさのボールを使って、運動場、河川敷、公園、庭等に距離の違う8ホールのコースを作り、それぞれのホールポストに何打でホールインするか競うもので、小学生から高齢者まで気軽にできる競技です。

身体を動かし適度な負荷で仲間と時間を楽しみたい方にはほど良い運動かと思えます。



- 活動は**
1. 毎週水曜日
 2. 河内総合運動公園 多目的広場
 3. 9:30~11:30 (冬期10:00~12:00)

体験してみませんか!

新型コロナウイルス感染予防に気を付けながらその他の種目も活動しています。

詳細については、河内地区市民センター、河内体育館においてあるパンフレットをご覧ください。事務局(平日のみ)まで問い合わせください。

問い合わせ先: スポーツかわち『ship』事務局(古里中学校体育館1F)
TEL:080-9652-5911

いきいき70バスカード

「いきいき70バスカード」(高齢者外出支援事業のバスカード)をお持ちの皆さんへ

- ・「いきいき70バスカード」は令和3年1月4日を持ちまして利用が終了になりました。
- ・使用中又は未使用の「いきいき70バスカード」をお持ちの方は、残額分を紙の回数乗車券へ交換することができます。

【交換期間】
令和3年1月5日から9月30日の間

【交換場所】関東自動車株、JRバス関東株の営業所
※詳しくは営業所(右記の表)へお問い合わせ下さい。

【紙の回数乗車券の利用期限】
令和3年12月31日まで
※利用期限にご注意ください。

関東自動車株式会社	
築瀬営業所	☎633-3482
宇都宮営業所	☎647-1181
駒生営業所	☎652-4795
駅前定期センター	☎634-4182
池上定期センター	☎634-4184
東野平出営業所	☎662-1080
石橋旅行センター	☎0285-53-7867
JRバス関東株式会社	
宇都宮支店	☎687-0671

これから「いきいき70バスカード」(いきいき70バス回数乗車券)のご購入を考えている方へ

- ・「いきいき70バスカード」の交付は終了しましたので、「いきいき70バス回数乗車券」の交付に変更になります。

【対象】今年度、現在までに高齢者外出支援事業で「いきいき70バスカード」又は「いきいき70バス回数乗車券」・「さざそう河内号の回数乗車券」の交付を受けていない方

【交付期限】令和3年3月31日まで

【回数乗車券利用期限】令和3年12月31日までですご注意ください。

※詳しくは、高齢福祉課(市役所2階)、河内地区市民センターへお問い合わせ下さい。

令和3年度(第18期) 田んぼの学校・参加者募集

令和3年度「田んぼの学校」の参加者を募集しています。自然豊かな白沢公園で、生きもの調査や田植え・稲刈りなど体験してみませんか。

- ・期 間 4月～翌年1月(年間10回程度)
- ・募集人員 小学生の親子20組(先着順)
- ・参加費 1家族10,000円
(年間の保険料、材料費)
- ・活動内容 前記のほか餅つき、ホテル観察会、夏野菜の植え付けや収穫、焼きイモ等「農と食」の体験をします。
- ・申込期間 現在募集中です



申込先

NPO法人グラウンドワーク西鬼怒
電話 028-673-9766(月は休館)

令和2年度 河内生涯学習センター生涯学習講座

中学生がどうしても伝えたい Charm of Kawachi "かわち"の魅力

古里中学校2年生の皆さんが、自分の住むまちの魅力を調べました。河内地区の素晴らしさを感じた中学生が地域の皆さんに伝えます。

(古里中学校2学年総合的な学習連携講座)

- 日 時 令和3年1月28日(木) 午後2時～(90分程度)
- 場 所 河内地区市民センター 1階 ホール
- 内 容 ①知ってる?古里地域の魅力 ～心落ち着く自然と文化～
②自転車でござせば あなたは きっとキレイになる。
③見よう!食べよう!遊ぼう!古里!
④古里地域の豆知識
⑤もっと知ってほしい!!古里地域の美味しい店!!!
(発表:1テーマ 10分～15分)
- 定 員 先着50名
- 申 込 令和3年1月5日(火)午前8時30分から
- 申込方法 直接、河内地区市民センター(河内生涯学習センター)貸館窓口、または、お電話(☎671-3201)でお申込みください。
- そ の 他 新型コロナウイルス感染防止に備え、受付のビニールシートや手指消毒液を設置するなど安全対策を講じますが、参加される皆さま方にも当日の検温、マスクの着用などをお願いします。

【問い合わせ先】河内生涯学習センター
〒329-1105 宇都宮市中岡本町3221番地4
電話671-3201 FAX671-3220 Eメール u2227@city.utsunomiya.tochigi.jp

私の地域自慢

岡本駅前二区自治会の紹介

岡本駅前二区自治会は、JR岡本駅西口側に位置しています。

現在自治会内は、行政により区画整理事業が進められて約80%が終了しました。大型スーパー、全国に展開する衣料店、コンビニエンスストア、ステーキハウス、居酒屋等の飲食店、歯科医院等があり、更に隣接には総合病院や交番もあります。

平成28年7月に岡本駅橋上化、駅舎内の東西自由通路・西口駅前広場の整備完了、西口広場への路線バスの乗り入れ開始によって自治会側西口が駅の玄関口となり居住環境も最適な地区と大変便利になりました。

区画整理事業の開始当初は、会員約350世帯(平成11年)と大所帯の自治会でしたが、事業が進み転居等で会員が減少し、現在は265世帯ですが、事業が大筋進んだことで、大手住宅メーカーによる分譲住宅の販売や賃貸住宅の建築で若い方々の入居により会員が増加してきました。

自治会では、例年、七夕まつり、夏祭り、芋煮会、研修旅行、スポーツ大会への参加により幼稚園児から高齢者までの行事を行っていますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止から残念ながら中止をしました。しかし、公民館は一時利用停止をしましたが、現在では新しい生活様式に則り、輪投げや健康体操等の活動を行っております。

2年前に区画整理事業に伴い公民館を建て替えて、車イスでのトイレ使用可能等、使いやすい設計設備により、会員の皆様が毎日のように趣味の活動の場として利用し、その稼働率は高く、他の自治会の方々にたいへん驚かれています。

現在、我が自治会では、①日頃から高齢者世帯への見守り活動の強化、②若い世帯の会員加入を目指すための魅力ある自治会活動の推進、③岡本駅西口の市街化に伴い地区の安心安全確保の活動を行い、会員が「ここに住んで良かったな。」を目指して活動しています。



田原中学校 天文台公開日のお知らせ

《2021年 2月・3月・4月の公開日》

2月6日(土)	27日(土)
3月6日(土)	20日(土)
4月3日(土)	17日(土)

- ・時間 19:00~21:00
 - ・会場 田原中学校天文台(特別教室4F)
 - ・その他 費用は無料
- ◎上履きをご持参ください。

※申し込みは下記ページから完全予約制です。

<http://scopepeople.jp/0001009/>

右のQRコードからページにジャンプできます→



◎宇都宮市の緊急事態宣言をうけ中止となる場合は星の子会Webサイトで告知しますのでご確認ください。

お問い合わせは

河内星の子会 hoshinokai@gmail.com

行政相談

- ◆相談日 2月18日(木)
3月18日(木)
4月8日(木)
 - ◆場所 河内地区市民センター
1階相談室又は2階学習室
 - ◆時間 午前10時~正午まで
 - ◆相談員 渋井トミ子
- ☎(673)2132

好きですかわち 女性に支えられ35年

東色ピグメント株式会社

当社は1951年創業の化粧品製造会社で来年の7月で70年になります。創業当初は東京色材工業株式会社という社名でしたが、1963年に現在の社名に変更しています。社名の「ピグメント」は馴染みのない名称ですが、「顔料」という化粧品には欠かせない原料を意味します。



東京の世田谷・練馬の両工場を閉鎖し、この河内エリアに移転し宇都宮工場として操業したのが1986年で、来年35年を迎えることになります。2017年には同じ栃木県内の矢板市に新工場も設立しています。岡山県の工場も含めると国内に3工場、更には中国の上海とシンガポールにも工場があり、宇都宮工場はそれら5つの工場のマザーファクトリーになります。

宇都宮工場ではファンデーションやアイシャドウ、口紅などのメイクアップ化粧品を中心にクリームやローションなどの基礎化粧品や医薬部外品を製造しており、国内の化粧品会社を中心に欧米の化粧品会社にも供給しています。

宇都宮工場の従業員数は約230名で、80%以上が女性従業員であり女性に支えられている工場です。

また例年は従業員の慰労目的で納涼祭や忘年会を開催していますが、今年はコロナ禍のため自粛を余儀なくされ、抽選会という催しに変更しました。

これからも皆様に喜ばれる化粧品を製造していくとともに、常に従業員、特に女性にとって働きやすい工場を目指していきます。

河内物語

☆宇都宮市河内地区の誕生(その6-1) 合併推進・編入合併

平成十七年(2005)三月三十一日市町村合併の特例等に関する法律(合併特例法)の期限満了

・県内では、平成十七年(2005)一月平成の大合併第一号となった那須塩原市(黒磯市・西那須野町・塩原町)

・二月佐野市(佐野市・田沼町・葛生町)

・平成十七年(2005)四月一日 市町村合併の特例等に関する法律(合併新法)を施行

平成十七年(2005)四月四日 住民投票パンフレット配布

(表題・住民の皆さんへ4月17日は、住民投票の投票日です。)

・表紙には、『今回、4,696人の署名を添えた住民投票条例制定の直請が行われ、三月二日の議会臨時会において「河内町の合併について意思を問う住民投票条例」が議決され、同日公布となりました。この住民投票は、町民の皆さんが、町の将来(町づくり)を方向付けていくという意思表示の場でもあり、非常に重要なものです。皆さんが内容を理解した上で投票していただきますようお願いいたします。』と記載されています。



・また「河内町の合併についての意思を問う住民投票」の概要の中に、成立要件として、投票資格者総数の2分の1以上(50%以上)の投票により成立します。満たない場合には、開票は行いません。と有りました。

平成十七年(2005)四月十七日
住民投票・宇都宮市と合併支持

・開票結果

☆投票総数 15,630票
有効投票数 15,506票 無効投票数 124票

☆有効投票数における選択肢「この投票数

*「単独で町政を継続する」 2,228票

*「14・37%」

*「宇都宮市との合併」 13,278票

「85・63%」

区分	投票当日資格者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)
計	27,471	15,630	11,841	56.90
男	13,551	7,431	6,120	54.84
女	13,920	8,199	5,721	58.90

ぼくの夢・わたしの夢

白沢小学校5年 鶴見 心彩

私の将来の夢は、イラストレーターです。理由は二つあります。一つ目は、絵を描くことが好きだからです。私は、いつも自由帳にキャラクターのイラストを描いています。二つ目は、イラストを見ると、楽しい気持ちになるからです。将来、私はイラストレーターになって、たくさんの人を楽しませたいと思っています。夢に向かって、学校の勉強を頑張ったりイラストをまねて描いたりし、努力をしていきたいです。



田原小学校5年 六本木 優輝

ぼくの将来の夢は、新幹線の運転士になることです。ぼくは、小さいころから新幹線や電車が大好きで、今もたくさん本を読んで調べています。ぼくの記憶に強く残っているのは、二年生くらいの時に、東北新幹線に乗った時のことです。東京から宇都宮に帰る時に乗ったのですが、一時間くらいで着いてしまつて、とても早くてびっくりしました。ぼくも将来、たくさんの人を早く安全に乗せて運転したいと思っています。



岡本小学校6年 船山 珠里

私の夢は看護師になることです。理由は時間が無かったり、感染症を恐れたり、暑湿気が苦手だったりするために病院に行けない人がいるとニュースで報道しているのを見たからです。私はより多くの人が病院に行きやすくするために、一人一人に合った対応や気配りができる看護師になりたいと思っています。将来の夢に向けて、どのような仕事なのか、どのような知識が必要なのかなど、看護師という職業について調べていきたいです。将来、みんなから信頼される看護師になって、誰もが行きやすく、居心地のよい病院を作っていきたいと思っています。



地域の皆様からの応募をお待ちしています。

- あなたの身近な地域の情報や話題
- 河内地区を撮影した風景写真、地域のお祭り、イベントの写真

【問合せ】

〒329-1105 宇都宮市中岡本町3221-4
河内地区まちづくり協議会
(河内地区市民センター内)
☎ (671)3202 FAX (671) 3220
Eメール先へ送信して下さい

河内地域の人口

人口 35,221人
男 17,595人
女 17,626人
世帯数 14,336世帯
(住民基本台帳による)
令和2年12月末日現在

編集後記

あけまして、おめでとうございませう。
昨年はコロナ禍の中、季節を楽しく余裕もなく、消費・マスク着用等々、不安な生活を余儀なくされたことと思います。そんな中でもあちこちで3密をしっかりと避け活動する人たちの姿に心温まる一年でもありました。
今年はい是非、明るいニュースを期待したいものです。